



3 研修会関係

研究・研修報告書

令和6年 10月 11日

小牧市議会議長 様

会派名 こまき民主市議団

代表者氏名 谷田貝将典

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

谷田貝将典、小川真由美、小沢国大

2 日程

令和6年 10月 9日（水）～10月10日（木）

3 研究・研修名

全国市議会議長会研究フォーラム IN 盛岡

4 主催者

全国市議会議長会

5 会場

トーサイクラシックホール

6 受講の目的

主権者教育について学ぶ

7 主な内容

主権者教育の新たな展開

8 所感・提言・課題等

次ページ

全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

1 日目

●主権者教育の新たな展開

静岡大学 井柳美紀

統一地方選の投票率、昭和26年に90.14%から、現在令和5年41.85%まで下がっている。要因は、昭和初期と比べ、議員や政治への関心が下がった。主権者教育が重要。競争率は、無投票が、市議会は3.6%あり、議員全体で、13.9%、首長が、40.2%。教育基本法によると政治的教養が必要。政治的な教育を学校に持ち込みにくい風潮、昭和44年、慎重に取り扱うようにと明記されていた。平成27年には、現実の具体的な政治的事象も取り扱い、自ら判断で権利を行使、指導すると変わった。のちに、高校で、模擬請願や模擬議会などを勧める高校副読本に明記された。学生がリアルに市議会と交流することを勧められている。

学生に聴くと、国政への主権者教育はされてるが、地方議会への教育はあまりないのが現状。

統一地方選の時期が良くない。18歳を考えるならば、時期をずらした方が学んでから投票できた方が良い。

●法政大学 土山希美枝

議会が主権者教育をやるのはやめた方が良い！

議会が主権者教育する立場なのか？

すべての子供達が対象になる、政府の一翼である機関が市民を教育、育成するのはどうなのか？

議会や議員を理解して欲しい、成り手を増やしたいは、議会側の考えである。

議会の場を、実践的教育の場として、協力する。ことが重要。

議会にとっては、若き市民の参加や将来市民の議員参加を得ることが重要であり、教えてあげて、こちらがやりたいではなく、連携することが大切では。

場としての特徴。多様な理解をモザイクのように集合体の意見、考えの中、意見を集約する場。

日本の学生は、他国と比べ、政治など話し合う場は少ない。

議会として、行政が行う主権者教育と議会が行う主権者教育はどう違いを示すのか？

議員のほうが、行政より市民に近いから、結論の前に、いろんな意見を踏まえられる特徴。

具体的ない課題をとりあげ、多様な声をあげてもらい、議会として取り上げれる。議会

3 研修会関係

は教育をする場ではなく、本来ある場を提供し、議論される場。二代表制を理解するのが大切、わかりにくい。

●総務省主権者教育アドバイザー

越智大貴

13年間の取り組み

キッザニアみたいな職業体験をやるが、子供たちがリアルに職業はやる流れで、倒産や生活保護もある。税金を納めたり、リアルな政治的な学びをできるような企画をした。なぜ、この活動をしたかというと、自国の政治に興味あるか？に、日本財団のデータで、日本はそこまで低くない。最近、SNSなど情報も影響。

ただ、自分で社会を変えられるか？は、日本は他国より低い。ただ、社会に役に立ちたいか？は、高い。

政治に関心がないわけではなく、どうせ変わらないと思っている。

さらに、友人家族とも政治の話はしない。

学校の主権者教育は、とにかく選挙にいこう！で、誰に入れたら？みたいな学びはない。しかし、現場では何かあると怖い。平等性、批判など、。

主権者教育のキーは、子供若者がやること。しかし、今生徒会もない、やらない。内申点以外興味ない。地域全体で政治に興味ない。議員と若者の場をもっと増やすことが大切。

●読売新聞東京本社

渡辺嘉久

新聞社で18歳で取材する部署がない。なので、渡辺さんともう1人で始めた。

議員は街に出よ。と言われている。

高校生と主権者教育の授業をした。付箋を使い寝かせない授業をするため、参加型でやった。人口減の未来の予想を伝え、高校生の子らが将来大変だという現実を伝え、考えさせる。考えさせると、未来への選択がかわる。政治で未来がかわることを気づかせる。候補者の政策のメリットデメリットを考える。よって、身近な問題、自分の問題と、投票を誰にするかを興味をもたせた。

大人から、若い人に自分の失敗の話をしてくださいとお願いしている。今の子は、自民党政権しか知らない。政権交代したこと、何がおきたか、変えられる、ということ教える。

●盛岡市議会議長

遠藤政幸

高校生議会を平成28年から開催している。

高校生に議会を経験してほしい、議員も刺激をうける！をテーマで開催。働き方改革などで辞退されることもある。

先生から、学校から生徒へ議会に興味を持たせるのは難しいが、高校生議会をやったことで、生徒が議会に興味を持ってもらえた。

市議会が三大学へおでかけし、学生と意見交換をしている。議会にお迎えするのではなく、議会が出向いた。ワールドカフェ方式で、議員がファシリテーターになり、テーブルを移動しながら、市政の意見交換をした。意見交換に出たものは、市政に活かそうと動き始めている。

2日目

司会

●主権者教育の限界

ディベート不足、地域の情報共有が大切

●高校生の議会傍聴

伊那市議会議長 白鳥敏明

平成30年に市議選が無投票に！なりて不足で危機感。

魅力ある議会づくり検討会設置し、若い世代に興味を持ってもらうため、伊那西高校に議会傍聴してもらい、意見交換をした。

コロナがあけて、令和4年から市内全高校を訪問し、依頼し、議会傍聴と意見交換会を実施。

3.4人に生徒代表が発表。グループ討議、感想発表の流れ。

その後、懇談会をやり、議会に若者の力を入れるには？地域の良いところや要望を出してもらった。

高校生感想は、伊那市のことをよく学べた、将来政治家になりたい！と嬉しい感想を聞いた。

成果と課題

生徒の方が申し入れできるようになると良い

学校に市への意見箱をおく

避難所の運営スタッフを高校生が参画したらどうかなど。

3 研修会関係

高校生による請願を提出された。総合的な探求の時間、子育てに優しい伊那市をつくるには、をテーマに、女子高生が、保育園保護者より 336 人アンケートをし、雨の日に遊べる場所や子育て支援センターの説明などを要望された。

高校生目線の通学路調査をし、街頭増設を要望された。

高校生より意見

議会はもっと SNS を活用すべき

議事録など活字だらけ

意見交換会をもっとやって欲しい

居場所を駅周辺につくって欲しい

●ワイワイ GIKAI

四日市市議会議長 諸岡 覚

高校生や大学生が対象で出張式で新しい何かを提案、若者を対象にする提案した。

令和 4 年に、開催。

四つの常任委員会が最低一回開催した。3つのグループに分かれてディスカッション。生徒から出た意見を委員会で整理して市政に活かした。

また、生徒が一般質問も傍聴し、生徒からいただいた意見をどう活かしたか説明。その後、特別支援学校から依頼があり、実施。生徒の選挙ポスター作りを一緒にやった。

高校生議会を開催。きちんと所信表明などをし、議長も決め、リアルな議会のようにやる。意見書案、採決、意見書提出というところまでやり、議会の内容を実践的に知っていただいた。

主権者に学んでもらうのではなく、議会も主権者と一緒に活動することを大切にしていく。

市議らが、注意すべきこと。自分の主張をしない。偏った政治心情は抑える。

今年は社会人を対象に、労働組合、商工会議所青年部などとも実施する

相手が求める主権者教育をすること

●山鹿市議会の課題 小学校でシチズンシップ教室

山鹿市議会議長 服部 香代

開かれてない、何をしているかわからない。議員の成り手不足、民主主義学ぶ。市議会を知る、議員の仕事を理解、選挙の意義や大切さがわかる。

企画から実施までコンセンサスをとることが大切。校長会へ依頼から全議員で取り組む。

一部議員だと、嫉妬と妬みのジェラシックパークになる。

選挙の絵本、ポリポリ村の民主主義を活用した。

感想は、議員の仕事がよくわかった。地域のために頑張ってることがわかった。議員になっても良いなど。

魅せ方も大事。取り組みをプレスリリースし、テレビや新聞に載せてもらい、より広く市民へ周知できた。

★まとめ

主権者教育は、こちらが、教えるものではなく、一緒に学ぶこと、相手がもとめる内容で励めることが大切。現場に出向いたり、生徒から直接対談することで、議会、選挙の役割り、大切さを理解していただける。学生市議会やディスカッション、出張意見交換を、議会から積極的に実施していくことで、若い層へ理解が深まり、議会や選挙参加や議員成り手への繋がると考える